

2026 年度

学会認定看護師教育課程

募集要項

## 意識障害・寝たきり（廃用症候群）患者の生活行動回復看護

(Nursing to Independence for Consciousness disorder and Disuses syndrome Patient; NICD)

### I. 研修の概要

#### 1. 本研修について

本研修は、年齢・性別、地域、療養施設の種別にかかわらず、意識障害や寝たきり（廃用症候群）状態などにより生活行動が困難となった方々の生活行動の回復を目指す看護技術を学ぶことを目的としています。近年、高度医療の進展により救命される患者が増える一方で、生活行動に困難を伴う障害を抱えながら生活している方も多く存在しています。本研修では、そのような方々の生活行動の回復を支援するための看護実践について学びます。

生活行動回復看護の特徴は、年齢や病状、障害の程度にかかわらず、対象者自身が生活行動を行えるようになることを目標とした介入方法にあります。そのため、対象者の状態に応じた目標と方法を計画し、目標の達成状況を評価しながら次の計画を立案・実施していきます。なお、日常生活行動の全面的な回復を目指す場合と、部分的な回復を目指す場合があります。

本研修では、生活行動回復看護を臨床で実践するために、以下の内容を学びます。

- ・生活行動に関わる身体機能の理解
- ・生活行動回復のための身体アセスメント
- ・具体的な介入方法

研修方法として、生活行動回復技術の基礎知識については対面または on-line で実施します。

また、「身体解放」演習および「食べるための口づくり」演習などの介入技術については対面形式で実施します。

さらに、日本ヒューマン・ナーシング研究学会が認定する学会認定看護師資格を取得するためには、この講義と演習に加えて、臨地実習、症例カンファレンス演習、症例報告演習などの研修を受講し、所定の修了要件を満たす必要があります。これらの要件を満たした場合、学会認定看護師資格が付与されます。

## 2. 研修目的

- 1) 意識障害・寝たきり（廃用症候群）患者の状態についての理解を深める。
- 2) 意識障害・寝たきり（廃用症候群）患者の生活行動回復看護（NICD）の特徴を理解する。
- 3) NICD のアセスメントの基礎知識について学習する。
- 4) NICD のアセスメントに基づく看護実践について理解する。
- 5) NICD で行った事例を通して、NICD についての理解を深める。

## 3. 研修期間

2026年8月22日（土）～2028年日本ヒューマン・ナーシング研究学会開催日まで

- ・ 講義と演習期間は、2026年8月22日から10月4日までとする。
- ・ 症例カンファレンス演習、臨地実習、症例報告演習の開講は対面による講義終了から2028年日本ヒューマン・ナーシング研究学会開催日とする。進捗状況において2027年日本ヒューマン・ナーシング研究学会までに終了することは可能である。

## 4. 研修受講対象者

看護師免許を有する者

ただし、認定を受けるものは以下の条件を満たした者とする。

- ① 看護師または保健師として5年以上の臨床経験を有する者
- ② 将来、生活行動回復の看護の指導者となる者

## 5. 研修コース

- 1) 認定コース：学会認定看護師の認定を目指す

認定コースでは、単位コースと症例カンファレンス演習、臨地実習、症例報告演習などの研修を受講し、研修修了の要件を2年以内に満たせるよう受講する。

- 2) 単位コース：講義や演習のみを受講する

単位コースは、NICD の認定教育の一部であるため、将来的に学会認定教育の受講を希望される場合には、各科目の単位修得の証明書を発行する。ただし、単位コースの受講後4年以内に認定コースを受講すること。

\* 受講の証明書を希望する方は、その旨をご連絡ください。

## 6. 研修方法

★学会認定の修得を希望する者は、講義、演習、臨地実習、症例カンファレンス演習、症例報告演習はすべて履修が必須である。

- 1) 講義は、対面にて京都第二赤十字看護専門学校で実施する。

ただし、単位コースにおいては on-line による講義形式の受講を可とする。

- 2) 演習は、京都第二赤十字看護専門学校にて実施する。

- 3) 講義並びに演習は、3時間を2単位とする。

- 4) 症例カンファレンス演習、臨地実習、症例報告演習は、認定コースのみ受講可能とする。

（1）症例カンファレンス演習では、1単位（3時間）を on-line あるいは対面で実施予定とす

る。

- (2) 臨地実習は所属病院で1事例について介入を4週間から8週間実施する。その間、実習指導者が1から2回施設を訪問またはon-line指導を実施する。実習の単位数は、4週以上8週以内で6単位とする。
- (3) 症例報告演習は、臨地実習で実施した1事例について日本ヒューマン・ナーシング研究学会で報告する(2単位)。報告までの期間は、on-line講義(研究倫理・情報処理・文献検討・研究方法など)と指導を4単位(12時間)実施予定とする。
- (4) 研修修了の条件は、講義・演習26単位、症例カンファレンス演習1単位、臨地実習6単位、症例報告演習4単位と症例報告3単位の計40単位のすべて修得することとする。
- (5) 研修修了時には、日本ヒューマン・ナーシング研究学会の認定試験(試験と事例レポート)の受験資格が得られる。
  - ・試験内容は、終了後に提示する。また、実践レポートは実習以外の2事例の実践報告の予定である。
  - ・認定試験の検定料は3万円とする。
  - ・ただし、認定試験の受験資格の期限は2年以内とする。期限を過ぎる場合は、別途連絡する。

## 7. 定員

- (1) 認定コース：15名
- (2) 単位コース：
  - ・対面の講義；20名
  - ・on-lineの場合；人数制限なし
  - ・演習；10名

## 8. 募集方法

### 1) 応募方法

- (1) 認定コースを希望される者は、所属の上司(例；看護部長など)の許可を得て下記の事項を記入の上、応募用のGoogleフォームにてご連絡ください。
    - ①氏名 年齢 性別 保有免許
    - ②所属先 所属からの許可の有無 臨床経験年数(領域と経験年数)  
所属がない場合などの事情がある場合は、別途相談に応じます。
    - ③連絡先：メールアドレス(キャリアメールアドレス不可)、個人につながる電話番号
    - ④志願理由
      - ・応募順に受け付け、定員になりましたら締め切ります。
      - ・応募後、別途提出していただく書類(願書・略歴・所属施設の許可書等)があります。
- 《認定コース応募用Googleフォーム》

URL : <https://forms.gle/6Qc2zpp2pxLjdZ559>

QRコード：



(2) 単位コースを希望される者は、下記の事項を記入して Google フォームにて応募してください。

- ①氏名 年齢 性別
- ②所属先 臨床経験年数
- ③連絡先：メールアドレス（キャリアメールアドレス不可）、個人につながる電話番号
- ④受講希望日と受講番号（下記の単位コースにおける締め切りと URL 送信予定を参照）

(注)

- ・ on-line での受講の場合は、各受講者に URL を付与します。
- ・ on-line での受講の場合は、複数による受講はご遠慮ください。
- ・ 施設（病院や法人など）で単位コースを希望される場合は、別途ご相談ください。

《単位コース応募用 Google フォーム》

URL : <https://forms.gle/iUDvX8JDnJcgaQ8UA>

QR コード :



## 2) 応募期間

(1) 認定コース：2026年4月1日から2026年7月31日

(2) 単位コース：開講日の1週間前まで

\*ただし、対面による講義は教室の関係により応募順で定員となりましたら締め切ります。

## 9. 受講料

1) 認定コース：40万円

2) 単位コース：講義2単位5千円

演習2単位1万円（材料費等込み）

振込先： PayPay 銀行 普通 支店名 ビジネス営業部 店番 005 口座番号 2030802 名義 日本ヒューマン・ナーシング研究学会
---

### 注意)

- ・ 講義ごとの URL は異なるため、振り込みが確認された後、開講日の前日までに送ります。
- ・ 単位コース取得後に認定コースを受講する場合には、本研修で取得した科目は既修得単位と認定します。しかし、認定コースの受講料から既修得の単位分の受講料を免除することはありません。応募前にご相談ください。
- ・ 受講を希望された科目が、主催者の都合や自然災害等の予測不能な事態によりキャンセルが発生した場合や、受講者の都合により講義に参加しない場合などいかなる事情でも受講料の返却はできません。
- ・ 研修地への交通費並びに宿泊費は別途自費になります。
- ・ 宿泊施設の紹介はありません。

## Ⅱ. 講義・演習予定

### 1. 研修スケジュール

日時		受講番号	9:30-12:30	受講番号	13:15-16:15	16:30-18:00
8月22日	土	講義 26-1	NICD と身体解放の看護技術 (紙屋)	講義 26-2	生活行動の再獲得のための技術 (林)	院内教育における指導 1 (福良)
8月23日	日	講義 26-3	NICD 実践スキル; 食行動の確立のためのアセスメント (大内)	演習 26-11	[演習] 食べるための口づくり (大内・福良)	
9月12日	土	講義 26-4	NICD 実践スキル; 動きだすためのアセスメント (林)	講義 26-5	NICD 実践スキル; 座位の確立のためのアセスメント (宮田)	
9月13日	日	講義 26-6	NICD 実践スキル; 睡眠のためのアセスメント・介入実践 (久保田)	演習 26-12	[演習] 身体解放の演習 (久保田・林・宮田)	
10月3日	土	講義 26-7	身体を調整する看護技術そして家族への支援 (日高)	講義 26-8	NICD 実践スキル; 栄養と体力の確立のためのアセスメント (日高)	院内教育における指導 2 (福良)
10月4日	日	講義 26-9	NICD 実践スキル; 排泄行動の確立のためのアセスメント (福良)	講義 26-10	実践看護プログラム; 看護展開の方法とアセスメント (林)	

\* 研修内容は予定であり、講師等の関係で日程が変更される場合があります。

### 2. On-line による単位コースにおける締め切りと URL 送信予定

日時		受講番号		応募締め切り	URL 送信日
8月22日	土	午前	講義 26-1	8月14日	8月21日
		午後	講義 26-2		
8月23日	日	午前	講義 26-3	7月31日	
		午後	演習 26-11		
9月12日	土	午前	講義 26-4	9月4日	9月11日
		午後	講義 26-5		
9月13日	日	午前	講義 26-6	7月31日	
		午後	演習 26-12		
10月3日	土	午前	講義 26-7	9月25日	10月2日
		午後	講義 26-8		
10月4日	日	午前	講義 29-9		
		午後	講義 26-10		

- 受講を希望する受講番号の誤記が生じて、修正ができ兼ねますのでご注意ください
- URL は送信日の 17 時になっても届かない場合は、メール (nicd.inst.2010@gmail.com) ください
- on-line による受講希望者は、キャリアメールアドレス以外のアドレスとしてください
- 演習は、対面になりますので、URL の送信はありません
- URL の送信において不具合が生じた場合、電話連絡いたしますことをご了承ください